

加古川市政記者クラブ・姫路市政記者クラブ
兵庫県政記者クラブ・厚生労働省記者会・報道関係者各位

ロボットが医療や介護の現場に浸透中

兵庫県で初めて、クリニックの受付に分身ロボット“OriHime”を設置 障がいのある方が遠隔地からロボットを通じて来院患者とコミュニケーション



分身ロボットの
”受付OriHime”



「のじぎく高砂」から”OriHime”を通じて
患者に話しかける、障がいのある方



”OriHime”の
操作画面

【概要】

大西メディカルクリニック※1は、2022年（令和4年）2月8日から、受付前の待合室に、分身ロボット“OriHime”を設置し、平日の10時～12時、遠隔地にいるNPO法人のじぎく高砂※2の利用者（体を動かすことが困難な障がいのある方）6名が交代で、ロボットを通じて、患者への呼びかけ、患者からの質問対応、患者との会話などを行っています。

※1大西メディカルクリニック：日の出医療福祉グループ 医療法人社団 奉志会の診療所
（兵庫県加古郡稲美町 理事長・院長：大西 奉文（おおにし ともゆき））

※2NPO法人のじぎく高砂：障がい者就労継続支援B型事業所
（兵庫県高砂市、代表：井上 恒夫（いのうえ つねお））

”OriHime”とは

株式会社オリー研究所が開発した、入院や障がいなどが原因で移動できない人のための、言わばもう一つの身体＝「分身ロボット」です。今回利用しているのは”受付OriHime”です。障がいのある方など移動できない方が、iPadやiPhoneのアプリを使用して、遠隔地にある“受付OriHime”を操作し、その場にいるかのように応答することが可能です。

※“OriHime”は、株式会社オリー研究所の登録商標です。株式会社オリー研究所 公式HP：<https://orylab.com/>

（担当者の1人・山下 栄治（やました えいじ）さん（60歳）の話）

「10歳のとき事故に会い左足が自由に動かなくなりました。今までは、靴下の最終包装や茶葉の袋詰めなど、体を動かす必要がない内職作業をやっていた。最初は、（自分には言語障害もあるので）、相手に自分の言葉が伝わるかどうか不安だったが、ロボットを通じて、子どもたちが話しかけてくれたり、お年寄りが頭を下げてくれたりするので、今ではワクワクしてとても楽しみになってきた」

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ
広報担当：中島 史朗（なかしましろう）
Mobile phone：080-4779-7682
Mail：nakashima.sr@hinode.or.jp
Tel：079-441-8423 Fax：079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2
代表者： 代表理事 大西 壯司
設立： 2016年7月
会員法人： 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人社団 奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会
サービス： 介護、保育、医療
事業所数： 166カ所 職員数：約3200人（2022年1月）



【背景】

医療や介護の現場は「3K」と言われて慢性的な人材不足となっており、高齢化進展とともに増大するニーズに追いついていません。これに対し国は「ロボット新戦略」を策定し、都道府県は介護ロボット導入に補助金を出すなど、医療・介護分野へのロボット導入を推進しています。

医療では「手術支援」「調剤支援」、介護では「自立支援(移動・歩行支援など)」「介護・介助支援(移乗・排泄・入浴・見守り支援など)」といったロボットの開発が進んでいます。NEDOの市場予測では2018年の約300億円が2035年には約5000億円と約17倍の成長が見込まれています。

今回の受付ロボットは、一般的な受付システムになります。今後は、このような一般向けのロボットも、医療・介護現場の業務効率化のため活用されるのではないかと考えています。

移動支援



歩行アシストカート

移乗支援



装着型パワーアシスト

排泄支援



自動排せつ処理装置

【経緯】

奉志会の大西 悠(おおにし ゆう)は、2年前に“OriHime”の正規代理店「any global 合同会社」に勤める友人から話を聞き、当時東京・渋谷限定で開店していた“OriHimeカフェ”で、実際に障がいのある方が遠隔操作でコーヒーを運んだり注文を受けている様子を見て関心を持っていましたが、昨年12月具体的に日の出医療福祉グループで活用しようと動き始めました。

当初は、障がいのある方に、介護施設で認知症予防のための話し相手になってもらうことを考えていましたが、グループ内で相談した結果、大西メディカルクリニック受付で、血圧測定の呼びかけや患者との会話をしてもらうことになりました。1月から試験導入して本格導入を決定、2月1日からの練習期間を経て、2月8日、本格運用を開始しました。

(井上理事長の話)

「今までは屋外で体を動かさず清掃や洗車、農産物販売などの仕事が多く、屋内で体を動かさなくてすむ仕事(靴下の最終包装や茶葉の袋詰めなど)は少なかったので、新しい仕事が増えて助かります」

【今後】

大西メディカルクリニック内では、地域包括医療での高齢者の話し相手や、健康診断室での受付、隣接する大西メディカルクリニック通所リハビリテーションセンター2階食堂での利用者へのメニュー説明など、活用を進めていきたいと考えています。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

広報担当: 中島 史朗(なかしましろう)

Mobile phone: 080-4779-7682

Mail: nakashima.sr@hinode.or.jp

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者:

代表理事 大西 壮司

設立:

2016年7月

会員法人:

社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス:

介護、保育、医療

事業所数:

166カ所 職員数: 約3200人 (2022年1月)

